

『現代社会文化研究』第 61 号原稿募集

“The Journal of Modern Society and Culture” No.61

第 61 号の原稿を次の要領で募集します。規定を熟読のうえ、主指導教員と相談し、執筆計画を立ててください。原稿の提出が確実に見込まれる人だけ申し込んでください。申込は別様の申込用紙にて行ってください。

- (1) 申込用紙提出期日 平成 27 年 7 月 30 (木) ……石田助教へ提出、不在時は一階のメールボックスに入れてください。

Deadline for **Application**: July 30, 2015 To Assis. Prof. Ishida Form No.1

- (2) 第 1 次原稿提出期日 平成 27 年 9 月 24 日 (木) 15 時……現社研石田宛

(1 次提出時にも執筆にはテンプレートを使用し、完成原稿同様の形式を整えていること)

提出物は、印刷した原稿 2 部。郵送の場合、同日必着

Deadline for **preliminary submission**: P.M. 3, September 24, 2015

Two hard copies; one will be forwarded to your primary supervisor.

You can get in English template from our website.

Please ask Assis. Prof. Kawanishi how to use it.

- (3) 完成原稿提出期日 平成 27 年 10 月 16 日 (金) 17 時……現社研石田宛

提出物は、印刷した原稿 2 部、原稿の電子ファイル(メール添付で提出可)、

指導教員原稿承認書、題目・要旨・本文確認書の 4 種。郵送の場合、同日必着

Deadline for **final submission**: P.M.5, October 16, 2015 Two hard copies, the electronic file: CD, USB memory and attached file is acceptable, “**Review and approval**” of your primary supervisor (Form No.2), “**Linguistic Expression Check**” of your article if you write the text or the abstract in another language (Form No.3)

- (4) 校正 11 月下旬予定 **Proofreading** November 2015

- ・念校一回のみ。誤字・脱字以外の加筆修正は認めない。
- ・校正期間中、日本にいない人は代理人を定めておく。
- ・校正原稿を受け取りに来ることができない人は国内に限り郵送可。完成原稿提出時に 200 円分の切手を同封すること。

- (5) 発行予定 平成 27 年 12 月 **Publication**: December 2015

(6) 原稿投稿条件 ・『現代社会文化研究』投稿規定」第 2 の(投稿条件)による
投稿原稿および投稿者は以下の条件を満たさなくてはならない。本紀要は紀要担当教員と執筆者、前号執筆者によって編集実務がおこなわれるため、(6)の条件を守らない者は、以後、原稿を本紀要に掲載しない。

(1) 未発表原稿であること。

(2) 完成原稿として提出すること(校正は誤字・脱字の訂正に限る)。

(3) 原稿本文は、日本語または英語であること。

(4) 執筆要領(第 4)にしたがうこと。

(5) 前号と前々号に連続して掲載していないこと(ただし第 6 条第 6 項による場合はのぞく)。

(6) 次号の編集委員となり、編集作業を補助すること。次号が執筆者の現代社会文化研究科修了後あるいは博士研究員任期修了後に刊行される場合は編集委員とならなくてもよい。但し、修了後に博士研究員となった場合は編集委員として業務を担当しなければならない。

(7) 休学した場合、休学期間前に応募申込を済ませていた場合に限り、投稿を認める。ただし、掲載の優先順位は最下位となる。

- (7) 原稿の形式 ・『現代社会文化研究』投稿規定」第4の（執筆要領）による。
 （注意） 規程にはありませんが、論文の題名に（一）（二）などの数字は
 付けないでください。
- (8) 原稿提出方法 ・『現代社会文化研究』投稿規定」第5の（完成原稿提出方法および校正）
 を参照。
- (9) 指導教員による原稿の承認
 ・主指導教員による原稿の掲載承認書を完成原稿とともに提出する。
- (10) 題目・要旨・本文確認書
 ・母語によらない論文や要旨、英文題目は言語表現の確認書を完成原稿と
 ともに提出する。

上記について疑問・質問のある方は、石田助教に問い合わせして下さい。

Tel 025-262-7602 joshgens@cc.niigata-u.ac.jp